

学期	月	時数	題材名	主な学習内容	知識・技能 評価方法：作品、定期テスト	思考・判断・表現 評価方法：作品、定期テスト、 ワークシート	主体的に学習に取り組む態度 評価方法：作品、定期テスト
1	4	3	見つめると見えてくるもの	・色彩の基本・仕組みを知る。 ・三原色と白を使った条件付けした色を作る。	三原色と白で世界の色ですべてを作ることを知り、水彩絵の具やパレットなどの道具の使い方を理解している。	絵の具の特徴を理解して、混色を行える。	絵の具を混色することでできる色の魅力を感じ取り、自由に混色している。
	4 5	3		水彩絵の具を使ってもやしを描く。	筆の使い方や線の強弱、水加減などの絵の具の生かし方などを身につける。	・魅力的な色や形を観察し、感じとったイメージや特徴を生かして、造形的なよさや素材の美しさを感じとり、見方や感じ方を広げることができる。	表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる学習活動を通して作品を制作しようとしている。
	5 6	6		水彩絵の具を使って海や空を描く。	空気遠近法について理解する遠近法にそって表現し、にじみ、ぼかしの技法を身につける。	・空を描いた経験を生かして海と空の空間的なかき分けができる。	意図に応じた空気遠近法の表現に興味をもって取り組み、遠近感を使ってあらわそうとしている。
	7	3	折って染める	折り染め和紙を使って表現する。	和紙特有の紙の特性を理解し、折り方や、染め方の基本を知る。	染めた和紙・折り方がもたらす効果や、色彩の特徴などを基に、最初は偶然からでも徐々に自分の意図した表現ができるようになる。	折り染め模様を活かして、漢字との相性を考え、意図的に効果的に漢字を選択し、作品を制作に取り組もうとしている。
2	9 10 11 12	16	切って作る物語	切り絵を作る。	切り絵技法の特徴をしり、アートナイフなどの用具を適切にあつかい、正確に対象を切り取りとることができる。	切り絵の元絵から感じ取った形や色彩の特徴や美しさなどを基に、全体と部分との関係などを考え、効果的な配色を工夫し、心豊かに表現することができる。	元絵から自分なりに感じ取った美しさ、物語性を切り絵という技法の条件の中で自分なりに表現活動に取り組もうとしている。
	12 1 2	8	そのものらしさを形にして	かぼちゃを本物そっくりにする。	・岩粘土の特性を知り、水分との関係でできる硬軟のあり方を活かして造形する。 ・本物をじっくり観察し、三原色でかぼちゃの色を忠実に再現する物の構造を理解し、美術的な視点で造形を考えることができる。	日常的な題材でありながら、よく見れば美しいかぼちゃの構造から学びつつ、本物そっくりに作り上げる。	自然物から学び、その肌合い、色、質感等を自分なりに忠実に再現する活動に自ら取り組もうとしている。
3	2 3	6	形や色で伝えるシンボルマーク	形や色を工夫してシンボルマークを考える。	具体的な文字などの形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に全体のイメージで捉えることを理解している。	伝えたい内容やイメージを基に伝える相手や場面などから主題を生み出し、わかりやすさと形や色彩などとの調和を考えてデザインする。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しくわかりやすく印象に残るマークをデザインするなど伝達のデザインの目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて工夫し、見通しを持って表したり、表現の学習活動に取り組もうとしている。